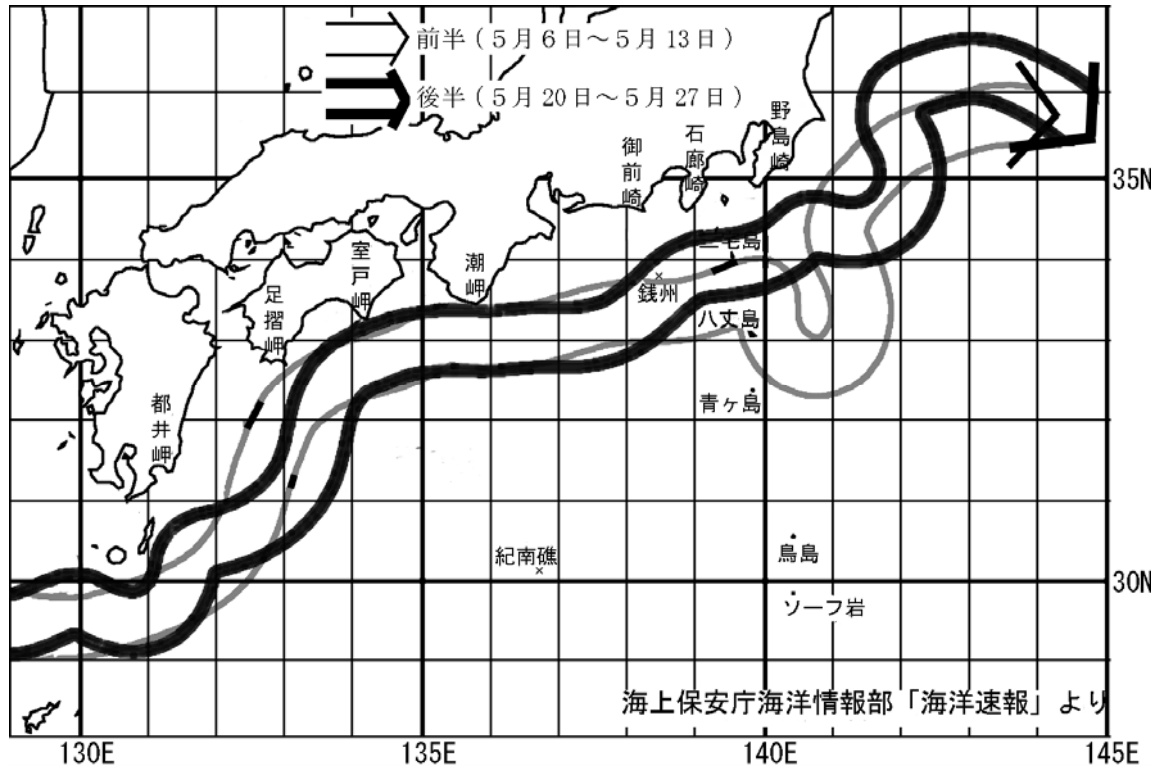


漁海況月報

平成22年 5月 1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半の黒潮は、九州の都井岬沖ではやや離岸、四国沖から潮岬沖では接岸傾向で流れ、遠州灘沖 33° Nから八丈島と三宅島の間まで東進した後、伊豆諸島東で小蛇行し 141° E付近を北上、房総半島に沿って北東へ流れた。

後半には、九州の都井岬沖から四国の足摺岬沖では20マイル以上の離岸傾向を示し、四国の室戸岬沖から潮岬沖では引き続き接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33° Nを東進し御前崎沖から北東に向かい、三宅島付近を通り房総沖で小蛇行して流れた。前半の伊豆諸島東の小蛇行は規模を縮小しながら東進した。駿河湾沖から伊豆諸島北部海域では黒潮の接岸傾向が顕著となり、前半に比べ石廊崎沖では約30マイル接岸した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾、駿河湾ともに16~19℃台で経過した。平年に比べ、上旬は相模湾側では高め、駿河湾側では低め基調の平年並み、中旬以降は稲取でのみ高め基調であったが、全般に低め基調の平年並みであった。

5~6日に相模湾と駿河湾東部に18~19℃台の暖水波及がみられた。後半の黒潮の接岸傾向に伴い駿河湾沖で20℃以上の暖水が波及したが、沿岸への影響はなかった。

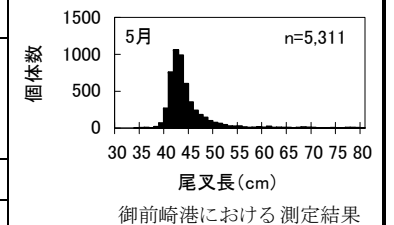
【竿釣近海カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は271トンで前年同期の109%であった。魚価は493円/kgで、前年同期を上回った。

近海竿釣り船は、29°~34° N、135°~140° Eで極小・小(尾叉長42cmモード)カツオを主体に漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

| 期間 | 水揚量 (トン) | 水揚隻数 | 水揚/隻 (トン) | 平均単価 (円/kg) |
|----------|----------|------|-----------|-------------|
| 22年 5月上旬 | 144 | 30 | 4.8 | 438 |
| 中旬 | 66 | 19 | 3.5 | 441 |
| 下旬 | 61 | 13 | 4.7 | 681 |
| 22年 5月計 | 271 | 62 | 4.4 | 493 |
| 21年 5月計 | 249 | 55 | 4.5 | 460 |
| 20年 5月計 | 355 | 95 | 3.7 | 518 |



御前崎港における測定結果

定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

| 期間 | 伊東 | 稲取 | 下田 | 雲見 | 沼津 | 焼津 | 地頭方 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上旬 | 17.2 | 18.2 | 18.2 | 17.7 | 18.4 | 17.3 | 17.5 |
| | 0.2 | 1.6 | 1.3 | 0.0 | 0.1 | -0.2 | 0.3 |
| 中旬 | 18.0 | 18.1 | 17.5 | 18.5 | 18.5 | 18.2 | 18.0 |
| | 0.1 | 0.7 | -0.1 | -0.1 | -0.4 | -0.2 | -0.1 |
| 下旬 | 18.4 | 18.7 | 17.8 | 19.0 | 18.9 | 18.9 | 19.3 |
| | -0.5 | 0.5 | -0.6 | -0.5 | -0.7 | -0.4 | 0.2 |
| 月 | 17.9 | 18.3 | 17.8 | 18.4 | 18.6 | 18.1 | 18.3 |
| | -0.1 | 0.9 | 0.1 | -0.2 | -0.3 | -0.3 | 0.1 |

【定置網】

平成22年5月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は581トンで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量83.0トンは前年76.4トン(7漁場)の109%、平年値(昭和57~平成21年)59.4トンの140%であった。

魚種別水揚量は、①マルソウダ183.1トン(A:前年同月比3,521%、B:平年同月比702%)②マアジ107.1トン(A:50%、B:59%)③カタクチイワシ101.9トン(A:89%、B:288%)④ワラサ63.8トン(A:2,755%、B:720%)⑤マイワシ34.3トン(A:94%、B:159%)の順であった。

マルソウダは北川、古網、川奈中心に入網し、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは34cmであった。マアジは川奈、伊豆山、古網、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは1歳魚と考えられる22cmにみられた。カタクチイワシは古網、伊豆山、北川中心に入網し、被鱗体長のモードは12.0cmであった。ブリのうちワラサ銘柄は伊豆山、川奈、北川中心に63.8トン入網し、昭和57

年以降で最も多く漁獲され、魚体が痩せていたため通常この時期にワラサとされる2008年級群のほか、2007年級群、2006年級群も市場でワラサ銘柄に分類され、尾叉長のモードは67cm、77cm、83cmにみられた。また、ブリ銘柄は40本の入網に止まり、イナダ銘柄は川奈を中心に13.6トンが漁獲され、尾叉長のモードは44cmにみられた。マイワシは川奈、谷津中心に入網し、被鱗体長のモードは16.0cmであった。サバ類はゴマサバ中心に33.5トンと4月に続ききわめて低調で、尾叉長のモードは37cmに見られたが、15cmにも0歳魚と考えられるモードが見られた。

漁場別水揚量は、川奈136トン（マアジ、マルソウダ、ワラサ、マイワシ中心）、北川123トン（マルソウダ、カタクチイワシ、マアジ、ワラサ中心）、古網119トン（マルソウダ、カタクチイワシ、マアジ中心）の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ128トン（前年同月比160%）、ゴマサバ586トン（前年同月比140%）が水揚げされ、1隻あたり水揚量はマサバ3.1トン/隻（前年同月比94%）、ゴマサバ14.0トン/隻（前年同月比80%）であった。平均単価は、マサバが231円/kgで前2年同月に比べ堅調、ゴマサバは63円/kgで前年同月（56円）を上回り前月（63円）並みであった。

たもすくいの漁場は大室出しに、棒受網の漁場は三宅、三本に形成された。マサバは、たもすくいを中心に尾叉長34cmモードの3歳魚（2007年級群）主体に26cmモードの1歳魚（2009年級群）も混じったが、下旬にはマサバ漁況は低調となった。ゴマサバは30～31cmモードの3歳魚（2007年級群）2歳魚（2008年級群）、23～27cmモードの1歳魚（2009年級群）が主体となった。また、棒受網では29～30cmモードのオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

| 期 間 | 水揚量(ト) | | 水揚 日数 | 水揚 隻数 | 水揚/隻(ト) | | 単価(円/kg) | | 漁 場 |
|---------|--------|------|----------|----------|---------|------|----------|------|--------------|
| | マサバ | ゴマサバ | | | マサバ | ゴマサバ | マサバ | ゴマサバ | |
| 22年5月上旬 | 75 | 324 | 6 | 19 | 4.0 | 17.0 | 207 | 56 | 大室出し、三本、三宅 |
| 中旬 | 43 | 154 | 6 | 14 | 3.1 | 11.0 | 270 | 68 | 大室出し、三本、三宅 |
| 下旬 | 10 | 109 | 3 | 9 | 1.1 | 12.1 | 254 | 76 | 大室出し、三本、三宅 |
| 22年5月計 | 128 | 586 | 15 | 42 | 3.1 | 14.0 | 231 | 63 | — |
| 21年5月 | 80 | 420 | 11 | 24 | 3.3 | 17.5 | 108 | 56 | 鵜、大室出し、三本、中瀬 |
| 20年5月 | 53 | 609 | 12 | 29 | 1.8 | 21.0 | 173 | 78 | 鵜、大室出し、三本、中瀬 |

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

5月は8日出漁し、水揚量は344トンと前年同月を下回った。漁場は原～蒲原沖と大井川～吉田沖にかけて形成され、水揚げされたサクラエビは、体長35mmにモードを持つ当歳エビと40mmにモードもつ1歳エビで構成された。

| 期 間 | 水揚量 (トン) | 日数 | 1日1か統当り 平均(kg) | 漁 場 |
|------------|-------------|----|-------------------|----------------|
| 平成22年5月 上旬 | 135 | 3 | 平均 752 | 原～富士川沖、大井川～吉田沖 |
| 中旬 | 30 | 1 | 平均 502 | 原～富士川沖、大井川～吉田沖 |
| 下旬 | 179 | 4 | 平均 745 | 原～蒲原沖 |
| 平成22年5月 計 | 344 | 8 | 平均 717 | |
| 平成21年5月 計 | 474 | 8 | 平均 989 | 沼津～由比沖、焼津～吉田沖 |
| 平成20年5月 計 | 567 | 7 | 平均 1,350 | 沼津～興津川沖 |

【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が199kg、遠州灘が487kgと駿河湾では低調であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は416kgと前年同期(166kg)の2.5倍、平年同期（過去5か年平均：536kg）の78%と前年同期を上回ったものの、平年同期を下回った。また、総水揚量は1,053.5トンで前年同期(137.3トン)の7.7倍、平年同期（1,362.8トン）の77%と、不漁であった前年を大きく上回ったものの、平年同期を下回った。平均単価は590円/kgと平年同期（618円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

| 漁 港 | 水揚量 (ト) | 延日数 | 延統数 | 平均漁獲量 (kg/統) | 平均単価 (円/kg) |
|----------|---------|-----|-------|-----------------|----------------|
| 新 居 | 119.6 | 20 | 250 | 478 | 495 |
| 舞 阪 | 449.8 | 19 | 893 | 504 | 548 |
| 福 田 | 290.9 | 21 | 564 | 516 | 563 |
| 御前崎 | 68.3 | 17 | 200 | 342 | 685 |
| 吉 田 | 104.8 | 17 | 408 | 257 | 736 |
| 静 岡 | 20.0 | 11 | 219 | 92 | 1,388 |
| 平成22年5月計 | 1,053.5 | | 2,534 | 416 | 590 |
| 平成21年5月計 | 137.3 | | 829 | 166 | 645 |
| 平成20年5月計 | 2,485.6 | | 2,526 | 984 | 445 |

【まき網】

小川港ではマイワシが2kgの水揚げで平年同期（14.2トン）の0.01%であった。沼津港では、マイワシが3.0トン水揚げで平年同期（74.1トン）の4%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静岡港では、マイワシが2.7トン水揚げで平年同期（1.2トン）の2.2倍であった。カタクチイワシの水揚げは266.3トンで平年同期（277.3トン）の96%であった。伊東港ではマイワシが0.4トン水揚げで、平年同期（0.1トン）の4.0倍であった。

注）平年同期：過去5か年（2005～2009年）平均

【調査船の動向】

駿 河 丸

| | | | | |
|--------|---|--------|------------------|-------|
| 5月 6日 | ～ | 5月 8日 | 地先定線観測 | (3日間) |
| 5月 10日 | | | 工事のため焼津港に係船（～6月） | (1日間) |
| 5月 12日 | ～ | 5月 14日 | カツオ魚群分布調査 | (3日間) |
| 5月 17日 | ～ | 5月 19日 | サバ調査、標識放流 | (3日間) |
| 5月 20日 | ～ | 5月 21日 | 湾内短期海況変動・タチウオ調査 | (2日間) |
| 5月 25日 | ～ | 5月 26日 | タチウオ調査 | (2日間) |
| 5月 27日 | ～ | 5月 28日 | シラス調査 | (2日間) |

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

